

# (チューブレスタイヤ用パンク修理キット)取扱説明書

このたびは当商品をお買い頂き誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

## 適用範囲

オートバイ~ 4WD車

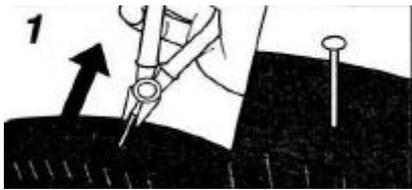
## 使いかた

< 楽に作業を進めるために... >

空気が完全に抜けている場合や、作業中に空気が抜けてきた場合は、別売のコンプレッサーなどで指定空気圧の半分程度まで空気を充填してください。

自動車後輪がパンクしている場合は、別売のインパクトレンチやクロスレンチなどを使用してタイヤを外してください。

(タイヤの脱着には、車載のパンタグラフジャッキ、または別売のフロアジャッキをご使用ください。) 自動車の前輪がパンクしている場合は、ハンドルを切ってタイヤのトレッド面が見えるようにしてください。

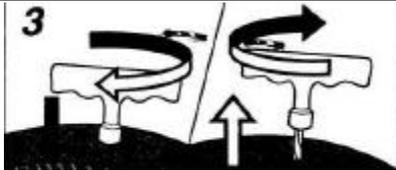


パンクの原因になっている釘などの異物を取り除いてください。

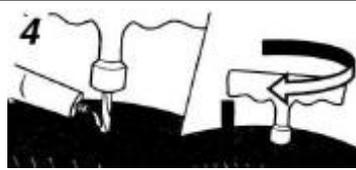
付属の釘を傷穴に軽く差し込んでおくことで傷穴の位置が簡単に確認できます。



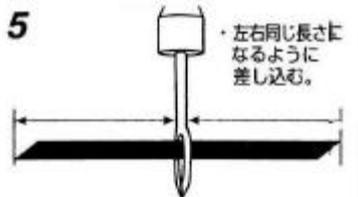
スクリーラー先端の金属部分にエコセメントをつけてください。



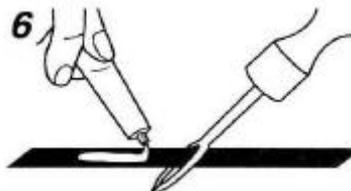
1. で差し込んだ釘を抜いて、スクリーラーを傷穴の方向に合わせて右に回しながら根元まで押し込んでください。次にスクリーラーを右に回しながら半分くらいまで引き上げます。



スクリーラーの金属部分にエコセメントを塗布してください。再度スクリーラーを右に回しながら根元までタイヤに押し込んでください。空気漏れを防止するため、スクリーラーを抜かずに押し込んだままの状態にしてください。



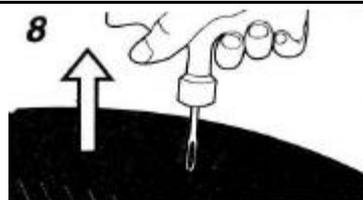
パワーバルカシールの保護フィルムをはがしてインサート needles の先端の穴に左右均等になるように差し込んでください。



インサート needles に差し込んだパワーバルカシール全体にエコセメントをたっぷり付けてください。



4. で押し込んだスクリーラーを右に回しながら引き抜いて、インサート needles を傷口に当て、傷穴の方向に合わせて、回さずに根元までまっすぐに押し込んでください。



インサート needles が根元まで押し込まれていることを確認して、インサート needles を回さずにまっすぐに引き上げてください。パワーバルカシールがタイヤに残ります。

9



10



タイヤのトレッド面から約3mm残してパワールカシールを切り取ってください。

修理完了後は別売のエアークンプレッサーなどを使用して、タイヤの適正空気圧まで空気を充填してください。

#### 使用上のご注意

- ・本製品はトレッド面の傷穴によるパンクの修理キットです。以下のようなパンクには使用できません。  
ガラスや鉄片などによる裂傷 直径6mm以上の傷穴  
トレッド面以外のパンク(サイドウォールやショルダー部分など)
- ・以下のタイヤには使用できません。  
老化したタイヤ すりへったタイヤ トラック用タイヤ チューブ入りタイヤ
- ・エコセメント以外の接着剤を使用しないでください。

#### 保管上のご注意

- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・エコセメントは蒸発しやすいので、使用後はしっかりとキャップを締めて保管してください。

#### 安全上のご注意

～必ずお守りください～



#### 警告

- ・エコセメントは火気の近くで使用しないでください。
- ・本製品の本来の用途以外に使用しないでください。



#### 注意

- ・エコセメントには有機溶剤が含まれています。作業を行うときは、換気のよい場所で行ってください。
- ・エコセメントにトルエンは使用していません。
- ・修理完了後は水と石鹸で十分に手を洗ってください。